

(4) 訪問教育

ア 基本的な考え方

(7) 在宅訪問

本校の訪問教育は、平成28年度は、奄美大島・徳之島・沖永良部島の3島で行われている。また、障害や病気の状態により常時ベッド上で生活をしている児童生徒から、肢体不自由や知的障害はあるが、健康面・認知面・運動面などから判断して、通学生として学校で教育を受ける力を十分にもち合わせている児童生徒まで在籍している。その幅広い実態に応じて自立活動を中心に教育課程を編成し、健康状態に無理のない範囲で児童生徒が喜びや楽しみを感じ日常生活がより豊かになるよう援助する。

(イ) 特別支援室

高校校舎を活用した大島養護学校高等部訪問教育は、平成22年度から与論高校、平成25年度から徳之島高校及び沖永良部高校で実施しており、沖永良部高校及び与論高校においては現在閉級している。

イ 目標

児童生徒の健康状態の改善・維持に努め、児童生徒が自分のもっている力を最大限に発揮して周囲の物に働き掛けたり、他者とのやり取りを行ったりする中で、喜びや楽しさ、達成感や成就感をより多く感じることができるようになるとともに、個々の能力を最大限に伸ばし、自立や社会生活に必要な知識・技能、態度及び習慣を養う。

ウ 訪問教育の内容及び指導時間等

(7) 在宅訪問

保護者の協力や管理の下で、一人一人の児童生徒の実態に応じて適切な学習ができるように、個別の指導計画を作成し継続的な指導の充実を図るとともに、指導目標に沿った活動を選択・組織して年間指導計画を作成し、指導している。具体的には児童生徒の興味・関心を基に、いろいろな体験を通して周りの変化への適応力を身に付けたり、コミュニケーションの基礎的能力を高めたりする。

(イ) 特別支援室

学習内容は、本校高等部のⅢ課程に可能な限り準じて実施する。なお、週授業時数については設置者の県と確認し決定する。

エ 指導に当たって

(7) 健康・安全面についての配慮

医療機関や保護者と連携し、児童生徒の体力や必要な医療の状況を十分把握し、授業の中で適切な対応ができるようにする。また、保護者からの情報や観察から健康状態を十分把握してから授業に入るようにする。学習の時間配分や内容などは、児童生徒の体調に合わせて、使用する教材・教具は、消毒や点検等して安全・衛生面に十分気を付けるようにする。また、思春期を迎えることに伴い、身体に変調をきたすこともあるので、体調の変化を見逃さないようにする。

(イ) 情緒・情操面についての配慮

児童生徒とのラポートづくりをしっかりとし、障害や病気の状態だけでなく年齢に合わせた接し方、教材の選択、母子分離の機会などを大切にする。また、様々な経験を重ね、好きなことや好きなものを見付け、楽しむことができるようにする。

(ウ) 感覚・運動についての配慮

障害の程度に合わせて、担任から積極的に働き掛け、児童生徒の身体の動きを促す題材や、受動的な感覚遊びを通して環境の把握能力を高める題材を工夫する。

(エ) コミュニケーションについての配慮

障害の程度に合わせて、児童生徒の反応を読み取るために児童生徒の表情や身振り、発声などを注意深く観察するようにしている。また、児童生徒が主体的に学習に取り組むような関わり方も工夫する。

(イ) 社会性についての配慮

訪問教育生は、生まれたときから家族を中心とした比較的狭い人間関係の中で生活してきていることが多く、同世代や異年齢の子供と関わる機会が少ない。そこで、一人一人の実態を見極め、体調等に配慮しながら登校する機会(スクーリング)を設定し、小集団からの集団学習を通して、家族や教師との関わりから友達との関わりへと人間関係を広げていくようにする。

(カ) 交流及び共同学習の設定

可能な限り、居住地校の児童生徒との交流を設定できるようにしている。

また特別支援室では、学校行事や昼休みの時間を同一時間に設定するなどして、自然な交流や生活科学系の生徒とのパン作りなどができるようにしている。さらに、高校の音楽の教師をゲストティーチャとして活用し交流を深めている。

(キ) 保護者への対応

在宅における訪問教育の場合、担任が家庭生活の場に出入りすることにもなるので、家族の理解と協力を得ることが重要になる。また、家庭の様子を理解し、保護者など主たる介護者が抱える介護や養育についての不安やストレスなどを和らげ精神的な支えとなることも大切である。

オ スクーリング

訪問教育生は、同年齢や同程度の発達段階にある児童生徒の集団の一員として活動する機会が少ない。このような実態から、学校行事や学部行事、共同学習など集団での学習の場を設定し、人や物との関わりをより豊かにするなど生活経験の拡大を図ることを目的としてスクーリングを設定している。実施に当たっては、保護者に十分説明を行い、参加できる場合は、保護者が引率し担任による指導を行うことにしている。

年間スクーリング計画(案)

一学期	4月	1学期始業式, 入学式
	5月	
	6月	
	7月	1学期終業式
二学期	9月	2学期始業式
	10月	運動会
	11月	
	12月	2学期終業式
三学期	1月	3学期始業式
	2月	学習発表会, お別れ遠足
	3月	卒業式, 修了式